

# とまちゃん通信

角ともこ県議会レポート

2022.8 August vol.59-1

## 笑顔がつくるはつらつ島根 すべては皆さんの笑顔のために

収束するかに見えたコロナも ○若い人たちが定住し働き続第7波の襲来により、保健・医療の現場は厳しい状況になって体となった取組みを進めます。 ○災害から県民を守るための検査や防疫、医療体制を強化していかなくてはなりません。 対策を進めます。

また、日々の生活に大きな影響を受けている人々への対応も必要です。国民の声をしっかりと受け止め、一人ひとりが大切にされる政治が求められます。

角ともこは、これまで「みんなが笑顔で暮らせる島根づくり」に取組んできました。これからも、働く人、生活者の立場に立ち、女性の視点を生かして、5つの柱を基本に課題解決に取り組めます。

1 **ひとづくり、まちづくりに大切な財源を活かします**

○地域の課題解決に取り組む市民やNPO活動への支援や、労働者協同組合の設立を進めます。

### 2 子どもの育ちを支える

#### 福祉や教育の充実を図ります

○時代を担う子どもたちが安心して育つ環境を整備するた

め、子どもの権利擁護の仕組みづくりを進めます。

○子ども一人ひとりに向き合う教育が実現するよう、教員の確保と働き方改革を進めます。

○障がいがある子どもも地域の中で自立して暮らすことができ

る共生教育を進めます。

### 3 女性が活躍できるための

#### 環境の整備を図ります

○女性のあらゆる場への参画促進と、女性が活躍できる環境づくりを進めます。

○女性も男性も共に家庭と仕事

が両立できる社会を目指し、企業のワークライフバランスの取

り組みを支援します。

○男女の格差是正のための取り組みを進めます。

### 4 健康づくりと医療体制の

#### 充実を図ります

○コロナなどの感染症に対する保健・医療体制の整備を進め

ます。

### 5 県民一体となって

#### 島根の農林水産業を守ります

○高齢者や障がい者が地域で安心して暮らせる地域一体となつた医療、介護の提供体制づくりを進めます。

○農業の担い手確保に向け、働

きがいのある農業づくりを進め

ます。

○所得向上のための農林水産物の販路拡大や地産地消の推進、戸別所得補償制度などの取り組みを進めます。

○中山間地域・離島での農林水産業を支援し、生活機能を維持

した持続可能な地域づくりを進

めます。



角ともい

# これまででの取り組み



県議会議員4期目は、1年目に発生したコロナウイルスの感染拡大による対応が中心となりました。そのような中で取り組んできた角ともこの活動を報告します。

県議会議員4期目は、1年目に発生したコロナウイルスの感染拡大による対応が中心となりました。そのような中で取り組んできた角ともこの活動を報告します。

## 未来に夢膨らむ 子どもたちのために

県議会議員として取り組んできた大きな課題のひとつに、子どもを取り巻く環境の改善があります。将来を担う子どもたちが夢や希望の持てる社会づくりに取り組んできました。

### 子どもを育む環境の整備

コロナ禍で、対面授業が困難となったり、休校となったりで子どもたちの学ぶ環境が変化しています。タブレットによる授業や動画の視聴などが健康に影響しています。影響調査とともに対策を求めてきました。ICT活用教育が進められる中、教員の研修やサポート体制の整備を求めました。



見学した森のようちえん

### 子どもの権利擁護

いじめや不登校、児童虐待など子どもが抱える問題は様々にあり、子どもの声を丁寧に聞き取り、早い段階での対処できる第3者委員会等による調査対応などの対策を求めてとり上げてきました。

### 誰もが笑顔で暮らせる しまねづくり

住み慣れた地域で誰もが安

心して暮らし続けることができる環境づくりがしまねの活力を生み出していきます。人口減少による課題への対応や、働く環境の整備などの課題について対策を求めてきました。

### 保健医療福祉の充実

コロナ禍で、保健医療福祉の脆弱さが露呈しました。感染拡大の防止や治療体制、コロナによって生活に大きな影響を受けている人々への対応など、体制の強化などを求めました。

### ジェンダー格差の解消

コロナ禍で、男女の格差が顕著になってきています。非正規の割合が多い女性たちが職を



とまちゃんカフェで意見交換

失い経済的な困難に直面していることや在宅勤務が増える中で家事の負担が女性に掛っているなど様々な課題が噴出しています。今一度、女性が置かれている環境を丁寧に検証し、格差是正への取り組みを求めてきました。男女の格差をなくす過程で、男女が共に暮らしやすい環境づくりが必要です。

### デジタルデバイスの解消

あらゆる分野で急速にデジタル化進む中、有効な活用は必要ですが、その流れについていけない人たちもいます。みんながデジタル化による利益を享受できるように、活用に向け、研

修会や支援員の確保など支援体制づくりを求めました。

### 食の安全・安心を 求めて

#### 農薬の使用制限を

ミツバチの大量死が問題となつていきます。虫の神経系をターゲットに駆除する農薬は、虫のみならず人への影響が懸念されます。欧米に比べ日本は農薬の使用量は多く、農薬の使用制限を求めました。また、食の安全を守るため、減農薬、無農薬、有機による栽培の促進を図り、給食などへの使用を求めています。

#### 種子条例の制定

主要農作物種子法が平成30年に廃止され、農家の皆さんが安定的に安全な種子を確保できるよう県条例の制定を求めてきた結果、令和2年12月、島根県農産物の種子及び種苗の安定的な確保に関する条例が制定されました。



通信制高校の生徒たちの声を聴く